

ICT 活用に関する基本計画

1. 目的

九州医療科学大学では、ICT（Information and Communication Technology:情報通信技術）の利活用により、効果的かつ実践的な学修者本位の学修の実現を目指し、すべての学生並びに教職員が安全かつ安心して利用し、教育研究活動において効率的に活用ができる ICT 環境の整備を図ることを目的に、本基本計画を定める。

2. ICT 環境の整備に関する取組

ICT を利活用した質の高い教育研究を推進するため、情報教育センターが中心となり、以下の環境整備に関して検討を行い、実施の推進を図る。

(1) ネットワーク環境の整備

キャンパス内の安定した WiFi 通信ネットワークの環境整備を推進し、調査・改善に努める。

(2) 学生所有ノートパソコンの必携化並びに BYOD（Bring Your Own Device）の推進

授業時や課題作成、レポート作成等の ICT 利用の促進を図るため、学生所有ノートパソコンの携帯を推奨する。併せて、学内利用に係るサポート体制の強化に努め、ハード及びソフト両面での検討を行う。

(3) 情報教室並びに自主学習環境の整備

ICT に特化した教室として情報処理室を整備する。

また、以下の学生自主学習環境の整備を行い、ICT 教育並びに BYOD の推進に努める。併せて、学生所有ノートパソコンの故障等に対応するため、学生が利用可能な学内貸し出し用ノートパソコンを整備する。

- ・ラーニングコモンズ（図書館 2 階）
- ・B-205 教室（1 号棟 2 階）

(4) 学修支援システムの整備

学生ポータルサイトとなる修学支援システム（Universal Passport）と Microsoft 365 の効率的な活用を促進し、利便性の向上に向けた継続的な検討を行う。

3. 技術支援・教育支援体制の整備

情報教育センターが中心となり、支援体制の検討・改善計画の立案を行い、学生及び教職員が効果的に ICT を活用できるための技術支援・教育支援を実施する。

なお、情報教育センターの事務は教務部教務課が行い、学園本部情報システム課並びに本学庶務部がサポートを行う。

ICT 活用に関する基本計画

4. セキュリティへの対応

設置母体となる学校法人順正学園情報セキュリティポリシーに基づき、学生並びに教職員に対する情報セキュリティ教育の推進に努める。

5. DX による学修者本位の学修の実現

学修者本位の学修の実現に向け、修学支援システム (Universal Passport) にある学修ポートフォリオ並びにマイステップの機能を活用し、教育課程の授業における学生習熟度等のデータ把握と可視化、並びに学生指導の効率化に努める。

(アウトプット指標)

学修並びに学生生活における取り組み内容及び結果に基づき、学生の進捗状況に応じた学生指導を行い、各学年各期 (年 2 回以上) に実施を推進する。

(アウトカム指標)

本学における学修並びに学生生活の満足度向上を目的に、卒業時並びに卒業後調査を実施し、90%以上の回答率を目指し改善・改革の推進に努める。

6. 点検・評価

本基本計画の点検・評価の推進は、中核センター教育開発部門、自己点検・自己評価委員会教育改革部会において行い、改善・改革の推進に努める。

令和 7 年 9 月 9 日 情報教育センター会議